



児童たちは楽しくカヌーをこぐ練習をした

上達したパドルさばきに笑顔

市力又一教室

市は7月25日から27日の3日間、市大和B&G海洋センターカヌー艇庫前の水路でカヌー教室を開きました。市内の小学4年生から6年生の児童23人が参加。全国大会に出場する強豪校の三潞高校カヌー部の部員らが毎年指導にあたっています。初日は真つすぐ進めずに悪戦苦闘していた児童も、最終日はカヌーに乗ってレースができるほどに上達。参加した児童は「始めは難しかったけど、とても楽しかったです」と笑顔で話しました。

中島地区が祭り一色

中島祇園祭り

中島祇園祭りが7月28日、中島地区の八剣神社を中心に繰り広げられました。同祭りは、天保14(1843)年に始まったといわれ、地域の無病息災や豊作豊漁を祈願するもの。座元の東上町の大蛇山をはじめ、西上町の踊り山や下町の獅子山、中町の殿様行列が区内を練り歩きました。踊り山では、踊り手が交代で囃子に合わせて踊りを披露。山車の周りをたくさん見物人が囲み、写真を撮ったり、踊り手に拍手を送ったりしていました。



踊り手の踊りが始まると大勢の人が山に集まった

市民のひろば

身近な話題などお知らせください！
情報をお待ちしています

子鬼たちが地域の平和を祈願

起田地区 盆綱



綱を手に地域を回る子鬼にふんした児童たち

地域の人びとの無病息災と五穀豊穡を願う起田地区の盆綱が、8月5日に行われました。これは、約370年前に筑後地区を襲った大凶作で、飢えや病気により死者が続出し、特に子どもが多く犠牲になったため、その霊を慰めようと始まったとされています。同地区の起田天満神社に集まった小学生約30人は、体に墨を塗り、腰みのや角に見立てた縄を頭に着けて鬼に変身。綱を手に同神社を出発したかわいい鬼たちは、「わっしょい、わっしょい」と元気な掛け声で区内を練り歩きました。

まるで黄色いじゅうたんみたいだね

第14回柳川ひまわり園

柳川市「有明花の里」実行委員会は、7月25日から8月5日まで、柳川ひまわり園を橋本町で開園しました。約3.5ヘクタールの広さに約35万本のひまわりが植えられた同園に、市内外から多くの人々が来園。展望台に恋の願いをかなえるため黄色いハンカチを結ぶぼうと、カップルの姿も多く見られました。展望台からのながめに、カップルは「満開のひまわりが広がり、とてもきれいですね」と話しました。また期間中は、ゲーム大会や物産販売コーナーなどもあり、大いににぎわいました。



満開のひまわりを見ようと多くの人が来園

川の大切さを伝える

二ツ川ウオッチング

8月3日、市教育委員会は二ツ川ウオッチングを行いました。これは、さまざまな淡水魚や水草などが生息している二ツ川を舟で下りながら、川の重要性や魚の生態を子どもたちに知ってもらおうと毎年実施しています。同ウオッチングには、小学3年生以上の23人が参加。三橋公民館で二ツ川の歴史や川に生息する魚を学習後、4艘の舟に分乗して、川の生き物を観察しました。児童たちは、水中を勢いよく泳ぐタナゴやオイカワ、フナ、エビなどを見つけると大きな歓声を上げていました。



舟の上から川の生き物を観察した参加者たち

俳句

今月の入選作品 課題「葭切」「月見草」

よりそへば少し開きぬ月見草

田中與志子(六合)

月見草咲ける河原に星出づる

古賀幸子(横山町)

夕闇に月に映えぬ月見草

藤吉トシ子(佃町)

手折ること出来ぬ強さの月見草

梅崎三和子(田脇)

人目避け暗闇か月見草

古賀治美(南浜武)

葭切よ啼けよ無音のひとり居に

黒田和代(吉富町)

月見草どてより風のすべりゆく

森永ちづる(七ツ家)

葭切の姿は見えず声ばかり

高崎登美雄(間)

月見草夜明け前まで輝けり

武藤博文(上宮永町)

むら雲に何か寂しい月見草

池田美幸(佃町)

月見草一夜の命惜しみ咲く

森フチ子(弥四郎町)

月見草かつての鉄路タマリバに

中原由美(新船津町)

葭切の声のするときエアポート

古賀俊郎(新外町)

旧道へ廻り道して月見草

田中位緒枝(豊原)

月見草どんな花ねと子は尋ね

西山幸子(垂見)

筑後川葭切ないて日は落ちる

徳永智有(徳益)

行々子鳴けば終戦日のことを

後藤正毅(金納)

おつおつと触れなは咲かむ月見草

谷祥子(柳町)

葭切りの鏡ひ鳴きして暮れにけり

古賀強(吉原)

月見草忘れないでとそつと咲く

野口美恵子(上宮永町)

◆選者の句

雨雲のたれし河原に行々子

鬼郎

俳句を募集しています。選句者は大曲鬼郎さん。9月の課題は「盆」「凌霄花」です。入選作品は9月15日号に掲載します。

●応募方法 俳句と明記し、自作、未発表の作品(※1人3句以内)に、住所、氏名、電話番号を書いて、ハガキかファクスまたは直接、柳川庁舎企画課広報広聴係(☎77・8425、FAX74・5520)へ、8月31日(※必着)までにお送りください。